

# HARIMA NEWS



2022 Vol.18

2022年Vol.18 掲載情報

社長からのご挨拶  
建具サミット2022 in 和歌山  
5S 工場レイアウト変更

襖とハリマ産業を知ってもらいたくて

バックナンバーは  
WEBにて公開中!

## ごあいさつ

平素よりハリマ産業をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。気が付けばすっかり秋になりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。ハリマ産業にとって今年は「5Sの一年」といえるでしょう。「何のためにやるのか」というところに答えが出たのでしょうか、社員一人一人の変化に会社の未来を感じます。

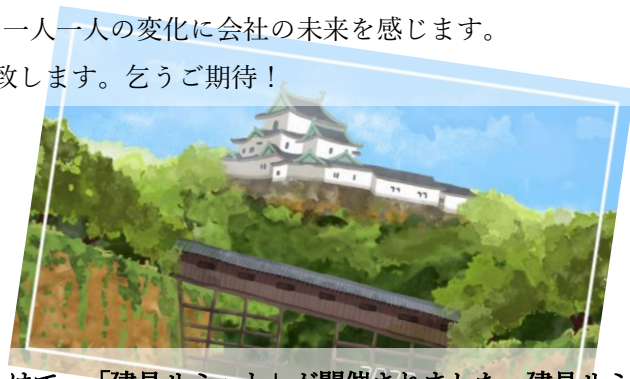
5Sのレポートは本号と次号の2回に渡ってお送り致します。乞うご期待!

代表取締役 大久保 謙一

## ハリマのあゆみ

### 建具サミット2022 in 和歌山

2022年7月1日(金)~2022年7月2日(土)の2日間にかけて、「建具サミット」が開催されました。建具サミットとは平成元年(1988年)に勉強会からスタートした各地域を代表する全国の建具屋の集まりです。各社が毎年持ち回りでホスト役となって自社工場を案内するという少々勇気の要る活動を行っております。コロナウイルス感染拡大の影響で、近年は開催方法の検討などを必要としましたが、今年2022年は久しぶりに顔を合わせての開催となりました。今年のホストは和歌山県の「中井産業株式会社」です。



中井産業様は関西最大の障子メーカーです。和室減少による需要減を「賽銭箱」や「神額」といったマニアックな製品によって補うというユニークな発想や、地元企業との協業で国産材を使った本格的なデザイン障子

『KITOTE』を開発するなど、精力的な製品開発が魅力的な企業です。『KITOTE』は海外にも出荷されており、神具は今後更に成長が見込まれる分野です。ハリマ産業もふすまや障子の需要減に対してドア製造に力を入れるなど努力しているつもりですが、中井産業様のような個性的な発想にはなかなか至りません。とても刺激的で、勉強になりました。参加企業の皆様、ありがとうございました。

次回、2023年は北海道の株式会社岡田建具製作所様での開催となります。今からとても楽しみです。

## 建具サミット参加企業の紹介記事 一覧

<https://harimasangyou-news.com/tag/tategu-summit/>



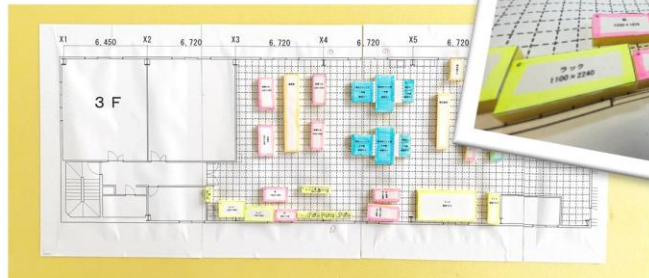
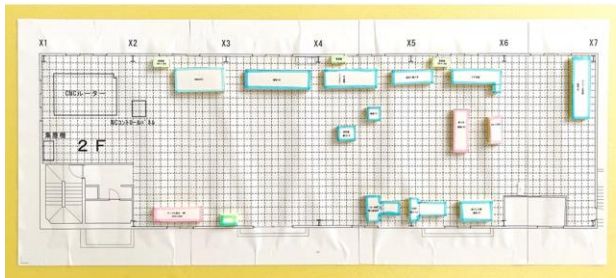
ハリマのあゆみ

## 5S 工場レイアウト変更 前半戦

2021年10月から2022年3月までの半年間、ハリマ産業は商工組合中央金庫と中小企業基盤整備機構の支援を受け、5Sの専門家である我妻隆吉先生のご指導のもと「5S」にチャレンジいたしました。ハリマ産業では半年間の総括後も我妻隆吉先生と共に5Sを継続することになり、2022年9月、ついに悲願の「レイアウト変更」を行う運びとなりました。本号と次号の2回に渡り、レポートをお届けしたいと思います。

この半年で、主要製品である襖、障子、フラッシュドアの工程整理を行いました。人の動き、物の置き場所・移動場所、出荷時の都合など、我妻先生と製造部の調整は時間をかけて行われました。その中で「ストア」と呼ばれるモノがねている時間とその場所が明らかになっていきました。製造業において、モノが加工も何もされていない時間（ストア）は損失と考えます。いかにストアを潰すかということになります。つまるところ作業効率が良くなるレイアウトに修正していくことになります。調査の結果、工場の2階と3階のレイアウト変更が喫緊課題ということがわかり、9月にいよいよレイアウト変更を行うこととなりました。

我妻先生とその奥様による愛のレイアウトボード



昨年10月から今年3月にかけての大掃除によってかなり動きやすい環境になったとはいえ、工場内にはまだまだ不用品が多くあります。何より問題となるのは、襖屋にしてはやけに多い大型の機械類です（笑）。レイアウト変更すると言っても、これらの機械や大棚を動かすのは簡単なことではありません。因みに、機械等の移動と設備変更を業者に見積りして頂いたところ、機械等の移動費用180万円、電気設備20万円、水道設備20万円で、合計220万円と言われました。衝撃的金額に一瞬打ちのめされました。しかし、ここまできて諦めるわけにもいかず、ハリマ産業は自分達でやるという究極の決断を下しました。平日の何日かを生産調整し、製造部一丸となって機械の移動解体作業がスタートしました。（次号に続く）



次号ではレポートの続きをお送りします！